

課題やめあてに対する自分なりの考えをもち、その考えを深める生徒の育成

—ICTを活用したシンキングツールの効果的な使用と意見交流から自分の考えを再考する活動を通して—
特別研修員 社会 津久井 仁美(中学校教諭)

授業実践 歴史「欧米の進出と日本の開国」全6時間計画の第6時～江戸幕府はなぜ滅亡したのか～

<生徒の実態、課題>

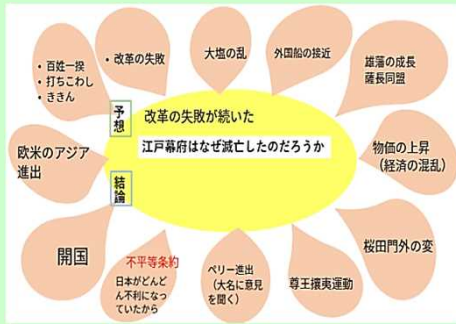
- ・自分の考えを分かりやすく整理して表現することが苦手。
- ・自分の考えを発表するだけの話し合いになってしまい、考えが深まらない。

<教師の願い>

自分の考えをもって交流し、考えをさらに深めてほしい。

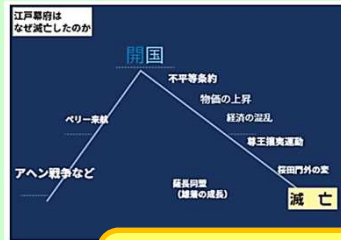


手立て 1 「シンキングツールの効果的な使用」



② プロット図を活用

キーワードをもちより、グループで並べ替え考えを整理することで、課題に対する自分の考えをもち。



① 自作のお花チャートを活用

- ・予想と結論を記入できる。
- ・結論を導くためのキーワードが蓄積されている。

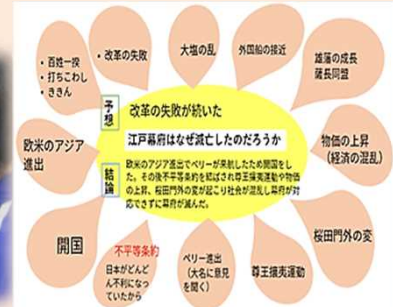
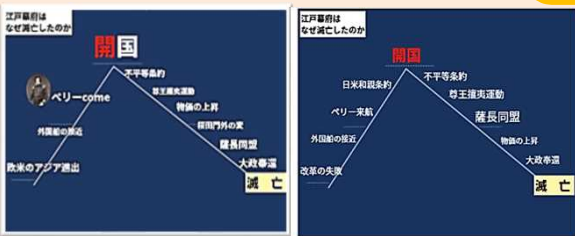
江戸幕府滅亡の大きな原因は開国にあると思うから、そこを中心に滅亡までの流れをまとめよう。

手立て 2 「意見交流から自分の考えを再考する活動」

① グループ間交流

プロット図を共有して生まれた疑問をグループ間で交流する。

滅亡の原因には欧米のアジア進出の影響があったことを付け足すと、さらによくならそうだな。



なぜ、「欧米のアジア進出」を入れたのか、別のグループに聞いてみよう。

② 再考する活動

交流を振り返り再度グループで話し合い、単元の課題に対する自分の考え(結論)をお花チャートに記入する。

追究する

ICTの活用

まとめる

目指す生徒像

課題やめあてに対する自分なりの考えをもち、その考えを深める生徒

<成果○、課題●>

- ICTでのシンキングツールの使用により、考えを修正、改善しやすく、生徒が自分なりの考えを整理して簡潔に表現でき、交流に生かすことができた。
- ICTを活用した交流は、互いの考えをすぐに共有でき、話し合いの時間や自分の考えを再考する時間の確保につながり、生徒が考えを深めるのに有効だった。
- シンキングツールに打ち込んだキーワードから考えを文章化する際には、歴史的事象の意味や原因などを十分理解させておく必要がある。また、どの生徒も考えがもてるよう、考えを共有するタイミングなども見極めることが重要である。